

有限会社 山崎マーク(製造業) : デジタルを活かし、新たな価値を創造するものづくり企業へ パターン①: デジタル化の可能性検討

参加者

企業 	社名	有限会社 山崎マーク
	業種	製造業
	事業概要	刺繍、Tシャツのプリント、のぼり・横断幕製作、グッズ製作
	所在地 (都道府県)	長崎県西海市
参加した受講生の概要 	チーム名	朝焼けの宇宙(そら)
	チーム人数	5人
	スキル・PR	私たちのメンバーは、デジタル技術のプロフェッショナルであり、企業課題を解決するために自身のスキルや経験を最大限に発揮します。
	進める中で工夫したこと	業務理解を重要視し、従業員へアンケートを取り、担当者以外の方の考えも確認した。

実施概要

課題内容

DXを導入し、業務プロセスの効率化とデータ活用をしたい。

- 様々な課題があるが、着手する順番が分からない。
- DX視点での有効な施策が思いつかない。
- 加工管理している業界のソフト（filemakerで開発）のデータを分析し、生産の効率化と分析、課題を抽出したい。



実施した検討内容

フロント業務にボトルネックがあり効率化を検討

- 業務理解のため、ヒアリング調査を実施し優先度を考え、DX化のロードマップを作成。
- ロードマップのファーストステップを協奏した。

データの重要性、活用方法を共有

- データの活用方法を議論し、指南書を作成。



検討の成果

業務プロセス課題改善のロードマップ作成: 業務プロセスの図式化を行い、課題を可視化し解決のためのロードマップを提案した。

データ連携システムの構築: 注文書をFMSに取り組み検討を行い、結果を共有した。

データ活用アプリを作成: データ活用方法の提案を行うと共に、データ可視化アプリを作成し、提供を行った。

有限会社 山崎マーク(製造業) : デジタルを活かし、新たな価値を創造するものづくり企業へ パターン①: デジタル化の可能性検討

実施内容の詳細

業務プロセス課題改善のロードマップ作成

- 様々な課題があるが、着手する順番が分からない。

データ連携システムの構築

- フロント業務に多くの時間を有し、ボトルネックとなっている。

データ活用アプリを作成

- 加工管理している業界のソフト（filemakerで開発）のデータを分析し、生産の効率化と分析、課題を抽出したい。

成果

業務プロセスの図式化を行い、課題を可視化し解決のためのロードマップを提案した。

- 社長である山崎様のみではなく、従業員の方にもアンケートを行い、全社の課題を抽出し、図式化した。
- 課題を企業側と共有しつつ、施策案を提案し、優先順位をつけた。
- 上記の情報を元に今後の山崎マーク様の将来像を意識したフローチャートを作成し、提案を行った。

注文書をFMSに取り組み検討を行い、結果を共有した。

- フロント業務は序盤工程であり次工程のボトルネックとなっている。
- 繁忙期は業務時間内に対応しきれず、時間外労働により対応している。
- FMSの入力作業をDX化して課題の解決を検討した。
- フォームを作成し顧客がフォームを入力し、そのデータがそのままFMSに連携できるシステムの提案をした。

データ活用方法の提案を行うと共に、データ可視化アプリを作成し、提供を行った。

- ヒアリングよりFMSによりデータを管理しているが活用方法が不明であることが分かった。
- そこで過去の実績データを提供いただき、チームで解析を行った。
- 得られた結果を共有し、有用性を理解いただいた。
- 企業内で同様の解析を可能とするためにアプリを作成、提供した。
- デジタル知識や煩雑な操作が不要で使用できることを意識して作成を行った。